



## 「実践的キャリア教育・職業教育」支援事業

- ◆事業目標： 大阪の「職業教育ナンバー1」をめざして、実践的なキャリア教育・職業教育に「頑張る高校」を支援  
(アジアとの競争に打ち勝ち、自分の力で食べていける高校生を育成)  
[目標] 高校生の就職内定率の上昇、進路未定者の減少
- ◆事業対象： 大阪府内の高校60校程度(府立30校+私立30校)を「実践的キャリア教育・職業教育推進校」として指定  
⇒就職希望者が多く、内定率が低い高校(公・私)を指定  
(当該校の就職内定率や進路未定率の割合が前年度よりも悪化した場合は「実践的キャリア教育・職業教育推進校」の指定を取り消す)
- ◆事業内容： ①高校の校長マネジメントにより、専門学校や企業、外部人材と連携して、生徒ニーズに応じた実践的なキャリア教育・職業教育を提供する高校に対し、「職業教育バウチャー」(生徒一人あたり7千円)を交付。  
(バウチャーの対象となる生徒からは別に負担を求める。(負担額は各メニューごとに検討中))  
②各高校は「職業教育バウチャー」を活用して、生徒に対して、職業適性診断、インターンシップ、専修学校での職業教育、就職活動支援などの実践的キャリア教育・職業教育を提供する。
- ◆事業期間： 3年間

※「大阪進路支援ネットワーク」が「実践的キャリア教育・職業教育プログラム」の情報を一元化して提供

〈構成〉 大阪府、大阪府教育委員会、大阪府専修学校各種学校連合会、大阪商工会議所、リクルート等

【参考】国の動き 中教審において、1月末に「今後のキャリア教育・職業教育のあり方」を答申予定  
⇒同答申は、高校生に対する「実践的なキャリア教育・職業教育」の重要性を強調  
\* 大阪府では中教審の答申を先取りし、高校生に対し「実践的キャリア教育・職業教育プログラム」を23年度からスタート【全国初】

# 「実践的キャリア教育・職業教育」支援事業

◎生徒一人あたり ・生徒負担額 各メニューごとに検討中  
・職業教育バウチャー 7,000円(公費)

## 自己理解

### ①職業適性診断

[民間・公的機関等]

- 職業適性診断テスト  
※高校生版を開発
- 職業ガイダンス

## 実践的職業教育

### ②専修学校での職業教育

<高校生向け「ダブルスクール」>

- 実践的職業教育授業  
(介護やアニメ、パティシエ等)
- 第一線の職業人との交流
- 職業資格取得講座
- 職業体験バスツアー

### ③インターンシップ

- 企業等での職業トレーニング

## 進路・就活支援

### ④進路・就職情報

[企業等]

- 就職情報サービスの活用
- 副教材の提供

### ⑤就職活動支援

[外部専門人材]

- ・新規採用枠拡大活動
- ・就職面接指導

※H23は雇用基金活用のため事業費に含まず。

## キャリア教育支援

### ⑥実践的キャリア教育

[外部専門人材]

- 専門人材による助言

### ⑦各種講座の開催

[外部専門人材]

- 人間関係育成講座
- ビジネスマナー講座

校長のマネジメントにより、生徒のニーズに応じた教育プログラム(①～⑦)を選択・組み合わせて実施

【要求額】 1億4千万円 (内訳) 府立・私立 60校分 職業教育バウチャー@7,000円×2万人(推定)